

決算報告・予算(案)等について

令和2年(2020年)4月に緊急事態宣言が発令され、その年はガイドラインを作成し青木町公園に提出、皆様方にも健康観察票の提出等多大なご協力を頂きましたが、大会の中止や参加人数の制限などの対応を迫られました。協会役員一同そのことを重く受け止め、令和3年度(2021年度)総会の際に二つの大きなご提案をさせて頂きました。

- ① 2021年度継続させるクラブチーム及び会員の方々からの**年会費・登録費をお預かりしない**。
ただし新規登録クラブ、新規登録の会員、チーム移動した会員は通常通りお預かりする。
- ② 今まで大会参加費を¥2,500としていたが**¥2,000に値下げ**する。
参加賞としてグリップテープを提供していましたが値下げと同時に、感染拡大防止の観点から参加賞をお渡ししない方式といたしました。

毎年年会費・登録料として皆様方より約120万円お預かりしていたので、令和3年度(2021年度)では過年度の繰越金を活用して約マイナス140万円の予算を組ませていただきました。

令和3年度(2021年度)の決算報告ですが、最初に皆様方からの多大なるご協力、役員の方々のご尽力などによりマイナス100万円程度の内容で報告ができましたこと感謝申し上げます。

- ・ 初心者ジュニアの大会は、各コートにひとりロービングアンパイアがつくような状態になるので、役員経費が多くなってしまいがちなので、参加人数を増やす努力が必要と考えています。
- ・ 春季レディース大会においては、例年よりもエントリー数が少ないうえに、平日開催の為役員が集まらず県協会よりロービングアンパイアを派遣して頂いたこともありマイナスとなってしまいました。
- ・ 市民体育祭ミックスダブルス大会は、東京オリンピック後新型コロナ新規感染者数の急激な増大などにより急遽中止、全額返金作業をしたためマイナス計上となってしまいました。

その他の大会は、少しずつですがエントリー数も回復の兆しがあり予定通り運営することができました。

新しい生活スタイルでの大会運営は、皆様方のご理解とご協力なしでは到底できません。今後とも当面の間皆様方にはご不自由をお掛け致しますが、ご協力の程宜しくお願い致します。

また、特別会計での特別強化費返済金(¥250,000)について触れさせていただきます。

平成28年(2016年)11月に川口市スポーツ協会より平成22年度～26年度に給付された特別強化費のうち¥1,272,425を返却するようこの覚書が交わされました。

該当する時期において不適切な領収証の使用などが指摘され当時の役員が再調査するも用途不明となる金額が残ってしまい、返金という重い処分が下されました。それ以降給付される特別強化費から控除される形式で5年間に渡り返却を続けた結果、令和3年度(2021年度)で完済することができました。今後は、同様の事案が起きないように、特別強化費を適正に使用してまいります。

令和4年度(2022年度)の予算(案)ですが、

- ・ 普及費においては近年コロナ禍の中中止されていた体育の日のスポーツ講習会の準備
- ・ 大会補助においては、都市交歓テニス大会や、川口マラソン大会への協力などの準備
- ・ 特別会計では特別強化費返済金分¥250,000を国体等候補選手やジュニア選手特別強化事業に充てていきます。